

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

### \* 東京天文台事務長布川銀次郎氏の退職(昭和39年)の記念写真

最近では、といってもいつ頃かは定かでないが天文台職員の退職記念に天文台職員のほとんどが参加した記念写真というものは撮影されなくなった。組織が大きくなったこと、ブランチが増え三鷹にいる職員だけでは天文台職員ほとんどとも言えなくなったことも原因であろう。それでも乗鞍コロナ観測所、岡山天体物理観測所、堂平観測所、野辺山太陽電波観測所、木曾観測所と各地に観測所が建設されても、天文台記念日、新年賀詞の日、年度末の退職者送別記念写真は撮られていたように思うが、いつのころからかこれらの習慣がなくなってしまった。

国立天文台名誉教授平山淳氏から提供いただいた古い写真の中に東京天文台第6代台長宮地政司氏の退職記念の写真(写真1)があったことをアーカイブ新聞第948号に書き、その時点では記念写真の宮地氏の後任の広瀬台長の右隣の人物を小松事務長と書き、古在さんから、小松事務長は広瀬台長のころはすでにいなかったと指摘され、この人物について同定を続けていた。この人物が広瀬台長と事務の庶務主任の間で腕組みをしていることから、宮地台長から広瀬台長に代わるころの事務長であった布川銀次郎氏だと思っていた。



写真1

アーカイブ新聞の読者から、「布川銀次郎」で検索していたところアーカイブ新聞に布川銀次郎がヒットしたと、布川銀次郎氏のお孫さんからメールをいただいた。そこでお孫さんに布川氏と思われる人物の退職時の記念写真らしい写真(写真2)と写真1の2枚をお送りしたところ、確かに祖父に当たる布川銀次郎その人だとお知らせをいただいた。



写真 2 東京天文台事務長布川銀次郎退職記念写真

東京天文台の年次報告を調べると、1963 年度には事務長として布川銀次郎氏、1964 年度には事務長として石原美久氏が記載されているから、写真 2 は 1963 年度末、1964 年 3 月末に撮影されたものであろう。

お孫さんは、写真 2 の前列中央のチェック柄の記念品を持っている人物が祖父の布川銀次郎だと知らせてくださったので、この人物は布川銀次郎と同定できた。このようにして不明であったことが判明していくのはうれしいことである。アーカイブ新聞 948 号と同じように、記念写真に写っている人物にわかる限り同定した名前を入れることにする。



写真 3 写真 2 の左半分を拡大したもの

写真3の人物の場所に番号を入れたものが図1である。

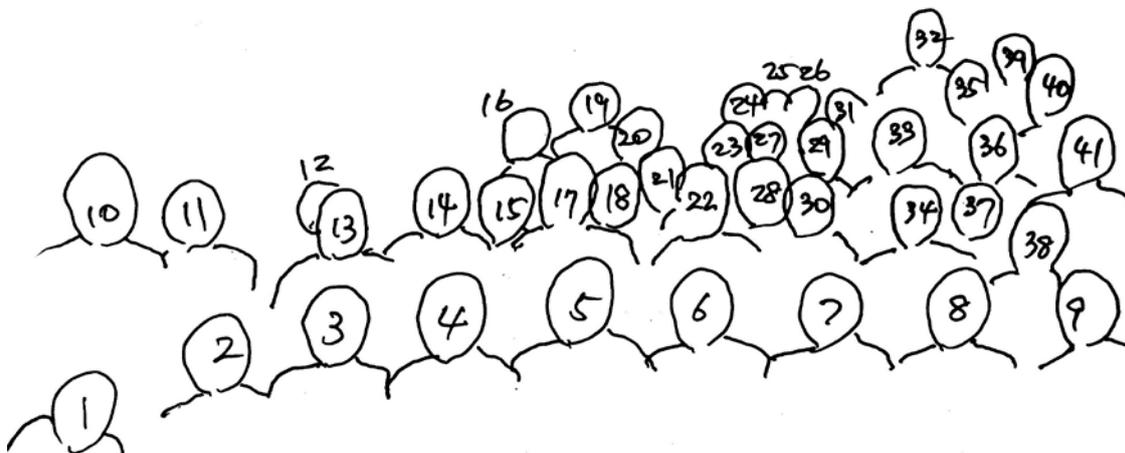


図1

かなり不確かではあるが、筆者のわかる範囲で図1の番号に同定した名前を入れる。

1：神田泰、2：安藤博、3：安田春雄、4：長沢進午、5：佐藤友三、6：大沢清輝、7：工藤房之助、8：布川銀次郎、9：広瀬秀雄（台長）、10：古在由秀、11：XXXX、12：XXXX  
13：宮沢正英、14：青木信仰、15：岡本富三、16：XXXX、17：平山淳、18：牧田貢、19：名取正、20：XXXX、21：XXXX、22：大城義名、23：原久男、24：XXXX、25：XXXX、26：XXXX、27：清水一郎、28：東康一、29：加藤亀三郎、30：関口直甫、31：XXXX、32：XXXX、33：松本惇逸、34：田中幸明、35：加藤正、36：河野節夫、37：XXXX、38：根道文子、39：XXXX、40：小熊巖、41：武見正利、



写真4 写真1の右半分を拡大したもの

写真4の人物の場所に番号を入れたものが図2である。

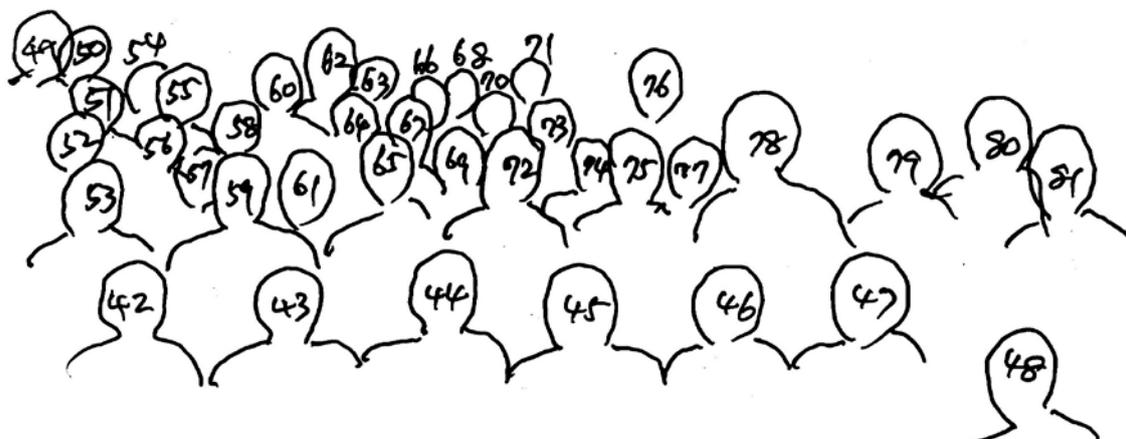


図2

筆者のわかる範囲で図2の番号に同定した名前を入れる。42：田中義夫、43：三輪克明、44：竹田吉雄、45 千場達、46：末元善三郎、47：中山重義、48：新美幸夫、49：XXXX、50：XXXX、51：土屋淳、52：伊奈辰之、53：岡崎清一、54：XXXX、55：澤渡矩子、56：清水いく、57：XXXX、58：XXXX、59：竹内端夫、60：大塚富美子、61：森田一郎、62：中込慶光、63：XXXX（女）、64：XXXXX、65：香西洋樹、66：XXXX、67：森敬子、68：XXXX、69：XXXX、70：佐藤光子、71：XXXX、72：三橋隆、73：大塚和子、74：XXXX、75：大柿信雄、76：XXXX、77：石井久、78：藤井繁、79：真鍋良之助、80：XXXX、81：崇地厚

筆者のわかる限り名前を入れてみたが、不確かである。読者の中にわかる方がおられればご連絡いただければと思う。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp